

令和7年 高等部 1年 (Ⅱ課程久米島高校分教室) 特別活動 年間指導計画(シラバス)

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
1／35	高1年 2名		

年間目標		(知及技) 知識及び技能		集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解する。				
		(思判表力) 思考力、判断力、表現力等		集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだす。				
		(学・人) 学びに向かう力、人間性		実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己実現を図ろうとする態度を養う。				
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連	
1 学期	4月	2	(知及技) クラスに必要な掲示物などをつくり、学習環境を整えることができる。	(知・技) 多様な他者と共に協同する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けようとしている。 (思・判・表) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし解決するために話し合い合意形成を図ったり、意思決定したりしようとしている。 (主学) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けることを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方にについての自覚を深め、自己実現を図ろうとする態度を身に付けようとしている。	・学級掲示物の作成	・必要な掲示物を作成する。個人目標や係を決めて、貼り出す。	国語、数学、美術	
	5月	4	(学・人) 他者との関わりを通して、余暇活動を楽しむことができる。		・新入生歓迎球技大会	・主体的に活動を企画し・運営する。	国語、数学、社会、音楽	
	6月	4	(学・人) 生徒会活動を通して、学校生活を楽しみ積極的に関わることができる。		・生徒会活動	・生徒会行事に参加し、協力学級と一緒に活動する。	国語、数学、美術、社会、職業	
	7月	2	(思判表力) 夏休みの予定を検討し、過ごし方を確認する。		・夏休みの過ごし方 ・ゴミ拾いをしよう	・夏休みのスケジュールを作成する。パワーポイントで夏休みの過ごし方について確認。 ・学校近くの海岸のゴミ拾いを行う。	国語、数学、職業	
2 学期	9月	4	(思判表力) 2学期の目標を立て、発表することができる。	(思判表力) 2学期の目標を立て、発表することができる。 (知及技) 本に親しみ、読書意欲を高める。	・2学期の目標	・2学期の目標を立て、掲示する。	国語、数学、職業	
	10月	4	(知及技) 本に親しみ、読書意欲を高める。		・読書活動	・図書室に行き、たくさんの本と触れ合う。	国語	
	11月	4	(知及技) 正しい交通ルールとマナーを知る。 (知及技) 健康管理についての方法を知る。		・交通安全 ・健康管理 ・ゴミ拾いをしよう	・講話による学習と振り返り。 ・飲酒、喫煙、薬物の被害と、健康への影響について。 ・学校近くのゴミ拾いを行う。	国語、数学、社会、音楽、英語、体育	
	12月	3	(思判表力) 静かに音楽を聴き、感じた事をワークシートにまとめることができる。 (思判表力) 冬休みの過ごし方を確認する。		・音楽鑑賞会 ・冬休みの過ごし方	・地域のイベントへ参加する。 ・パワーポイントやワークシートを活用し、2学期の自己評価や冬休みの過ごし方について説明する。	国語、音楽、職業	
3 学期	1月	2	(思判表力) 3学期の目標を立てることができます。	(思判表力) 3学期の目標を立てることができます。 (学・人) 他者との関わりを通して、余暇活動を楽しむことができる。	・新年を迎えて	・新鮮な気持ちで1年間の目標を作成する。	国語、数学、社会、音楽、職業	
	2月	4	(学・人) 他者との関わりを通して、余暇活動を楽しむことができる。		・送別球技大会 ・ゴミ拾いをしよう	・主体的に活動を企画し、運営する。 ・学校近くのゴミ拾いを行う。	国語、数学、社会、音楽	
	3月	2	(学・人) 次の学年に向けての心構えを持つ。		・新学年度に向けて	・シートを活用し、自己評価する。	国語、数学、職業	
留意点 引継等								
評価方法		・三観点の確認						

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
年間130	高2年 2名		ひとりだちするための進路学習

年間目標	(知及技) 知識及び技能	探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解している。				
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	実社会や実生活と自己との関わりから問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。				
	(学・人) 学びに向かう力、人間性	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。				
日	月	単元・題材目標 (三つの柱)	単元・題材の評価規準 (三観点)	単元・題材名	単元・題材の活動内容	教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月 1	(知及技)総合的な探求の時間、働くことや実習について意義を理解する。	(知・技)総合的な探求の時間、働くことや実習について意義を理解しようとしている。	・総合的な探求の時間について学ぼう	・総合オリエンテーション	職業、家庭
	5月 1	(思判表力)校内での実習や過年度実施した現場実習を通して、人との関わり方や仕事に取り組む姿勢を学ぶ。	(思・判・表)校内での実習や過年度実施した現場実習を通して、人との関わり方や仕事に取り組む姿勢を学ぼうとしている。	・前期実習に向けて準備しよう	・前期現場実習事前学習(校内) ・前期現場実習壮行会	職業、家庭、国語
	6月 6	(思判表力)(学・人)反省点や良かった点を見つけ、次回へ繋がる課題を考え、発表することができる。	(思・判・表)反省点や良かった点を見つけ、次回に繋がる課題を考えようとしている。 (主学)自分なりの意見を発表しようとしている。	・前期実習を終えて気付いたことを発表しよう	・前期現場実習(6/9~6/20) ・前期現場実習事後学習	職業、家庭、国語
	7月 1	(思判表力)積極的に学ぶこと、働くこと、人と関わることができたか振り返る。	(思・判・表)積極的に学ぶこと、働くこと、人と関わることができたか振り返ろうとしている。	・1学期を振り返ろう	・1学期の振り返り	国語、職業、家庭
2 学期	9月 1	(知及技)現場や自分の実習について知る。	(知・技)探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解しようとしている。	・中期現場実習に向けて準備しよう	・中期現場実習事前学習	職業
	10月 6	(思判表力)前期現場実習での課題を意識して行動できる。 (学・人)前期と比べて成長できた点や反省点を見つけ、次回へ繋がる課題を考え、発表することができる。	(思・判・表)(主学)前期現場実習での課題を意識して行動しようとしている。	・中期現場実習	・中期現場実習壮行会 ・中期現場実習(10/6~10/17)	職業
	11月 0					
3 学期	12月 1	(思判表力)積極的に学ぶこと、働くこと、人と関わることができたか振り返る。	(思・判・表)積極的に学ぶこと、働くこと、人と関わることができたか振り返ろうとしている。	・中期現場実習を終えて気づいたことを発表しよう	・中期現場実習事後学習	職業、国語
	1月 0					
	2月 1	(思判表力)自分の職業の適性や働きがいを感じる実習先を探そう。	(思・判・表)自分の職業の適性や働きがいを感じる実習先を探そうとしている。	・次年度の実習先を探そう	・実習先の希望用紙配布、提出	職業

期	3月	(思・判・表力)将来の自分を思い描きながら、今年度の自分の課題を考え、次年度の目標を決める。	(思・判・表)将来の自分を思い描きながら、今年度の自分の課題を考え、次年度の目標を決めようとしている。	・1年間を振り返ろう	・1年間の振り返り	社会、家庭、国語
留意点 引継等						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・三観点の確認 ・授業に対する取り組み姿勢 ・課題の処理意欲、態度 ・実技 ・理解度、習得度 					

令和7年 高等部 3年 (Ⅱ課程久米島高校分教室) 総合的な探究の時間 年間指導計画(シラバス)

単位数／配当時数	対象人数	担当者名	教科書／副教材
年間130	高3年 2名		

年間目標	(知及技) 知識及び技能	探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意識や価値を理解している。	
	(思判表力) 思考力、判断力、表現力等	実社会や実生活と自己との関わりから問い合わせを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	
	(学・人) 学びに向かう力、人間性	探究に主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。	
日	月	時数	単元・題材目標 (三つの柱)
			単元・題材の評価規準 (三観点)
			単元・題材名
			単元・題材の活動内容
			教科等横断的視点 他教科との関連
1 学期	4月	1	(知及技)総合的な探求の時間、働くことや実習について意義を理解する。
	5月	1	(思判表力)校内での実習や過年度実施した現場実習を通して、人との関わり方や仕事に取り組む姿勢を学ぶ。
	6月	61	(思判表力)(学・人)反省点や良かった点を見つけ、次回へ繋がる課題を考え、発表することができる。
	7月	1	(思判表力)積極的に学ぶこと、働くこと、人と関わることができたかを振り返る。
2 学期	9月	1	(知及技)現場や自分の実習について知る。
	10月	61	(思判表力)前期現場実習での課題を意識して行動できる。(学・人)前期と比べて成長できた点や反省点を見つけ、次回へ繋がる課題を考え、発表することができる。
	11月	0	(知及技)(思判表力)前期と比べて成長できた点や反省点を見つけ、次回へ繋がる課題を考え、発表することができる。
	12月	1	(思判表力)積極的に学ぶこと、働くこと、人と関わることができたかを振り返る。
3 学期	1月	0	
	2月	2	(思判表力)自分の職業の適性や働きがいを感じる実習先を探そう。
留意点 引継等			
評価方法	・三観点の確認 　・授業に対する取り組み姿勢 　・課題の処理意欲、態度 　・実技 　・理解度、習得度		